

“非正規雇用と安心できる年金・暮らし”を考え・交流！

「人間らしい生活を！いのちを守る第6回静岡県民のつどい」オンライン開催！

10月30日、「人間らしい生活を！いのちを守る第6回静岡県民のつどい」が県社保協加盟団体をはじめ県下の支援団体など、実行委員会の主催でロッキーセンター大会議室をメイン会場としてオンライン併用で行われました。今回は静岡県立大学短期大学部の中澤秀一准教授に「～非正規雇用と安心できる年金を考える～働き方と暮らし、社会保障～」をテーマに講演をして頂き、新自由主義、全世代型社会保障改革の政策のなかで、若者の非正規雇用、引きこもりなど貧困の実態を探り、働き方そして安心できる年金制度を考えました。その後、学生のアルバイト事情について（静岡学生支援ネットワーク 常葉俊氏）、障がい者の働く権利と生活（障害者（児）の生活と権利を守る静岡県連絡協議会 大石潤子氏）、生活できない年金と今後の課題（全日本年金者組合 静岡県本部 事務局長 岡村 雄馬氏）から報告をしてもらいました。「安心して働き、豊かな老後を送りやすい」「当たり前のことが実現できる社会を諦めずに実現したいです」「一つの社会問題は社会的なトータルで考えたいです」との感想が出されました（感想文より）。昨年に引き続きオンライン併用での開催で、総選挙投票前日となりましたが、約30名の方に参加していただきました。ご協力ありがとうございました。



来年もまた行いたいと思いますので、企画、運営等の意見、要望等ございましたら、12月20日の実行委員会で話し合いますので県社保協事務局までご連絡下さい。

11月11日は“いい介護の日”今年も介護・認知症なんでも無料電話相談実施！

～23都道府県で実施、昨年の倍の547件の相談！静岡県内でも過去最高の15件の電話が寄せられました～

「いい介護の日」の11月11日、今年も「認知症なんでも無料電話相談」が全国（23都道府県）で実施され、昨年（22都道府県）の2倍の相談が寄せられました。静岡県社保協では今年も静岡民医連に依頼をして、午前10時～午後5時まで生協ケアプランセンター（浜北医療生協）の3名のケアマネジャーが後退で過去最高の15名の電話相談に応じました。

10月22日には4団体（民医連、障しず協、新婦人、保険医協会）5名の参加で「県民のつどい」と併せて「認知症なんでも無料電話相談」の記者会見を行い、選挙中であったため2社（読売新聞、朝日新聞）参加だけでしたが、介護保険の実態や高齢者の貧困問題を中心に行いました。また当日は昼のNHKニュースが流れた後、電話がかかり始め夕方まで電話が鳴り響きました。

「現在妻が介護5で老健に入所している。8月から減免の金額改定で食費や生活費が上がったため、本人の年金だけでは足りず自分の分からも出しているため、自分で生活が足りない。今後のことを考えると不安です」「86歳の父が脳梗塞（介護4）で入院中。右マヒで後遺症があつてうまくしゃべれない。再度介護認定調査を受けるが、認知症と診断されてしまわないかが心配」「マンションの隣に住む男性が認知症。お風呂の炊き方もわからず、自分が手伝ってあげることもある。訪問介護のヘルパーが入っているようだが、入浴などはしていない様子。きちんとしたサービスが受けられていないと思う。本人がかわいそうで仕方がない」など切実な相談が寄せられました。

11/24（水）県議会議長に提出予定。署名用紙は22日までに県社保協事務所までにお届けください！

県議会議長に14時に提出しますので、国保署名提出に参加して頂ける方は13時30分に県議団控室に集合してください。（参加者氏名を事務局にお知らせください。）

また現在の取り組み状況をお知らせください。